40周年記念誌

（一社）国際ロータリー第2770地区
大宮中央ロータリークラブ



40th Anniversary

Table of Contents

P02　創立総会・5周年　集合写真

P03　10周年・15周年　集合写真

P04　20周年・25周年　集合写真

P05　30周年・40周年　集合写真

P06　クラブ概要・歴代会長幹事

P07　系図・現会員名簿

P08　挨拶　会長　鈴木真琴

P09　祝辞　さいたま市長　清水 勇人 様

P10　祝辞　（一社）国際ロータリー第2770地区ガバナー　熊木雄太郎 様

（一社）国際ロータリー第2770地区第3グループガバナー補佐　中村芳彦 様

P11　祝辞　国際ロータリー第3750地区南安養ロータリークラブ　会長　이 학종(イ・ハクジョン)様

祝辞　（一社）国際ロータリー第2770地区大宮ロータリークラブ会長　大竹 敦 様

P12　祝辞　さいたま市立大宮国際中等教育学校校長　根岸 君和 様

P13　お礼の言葉　大宮中央ロータリークラブ パストガバナー　久世晴雅

40周年記念実行委員長　熊木広光

P14　お礼の言葉　40周年記念式典委員長 星野時夫

40周年記念奉仕事業委員長 山田善信

P15　40年の歩み

P22　2016-17メモリー

P23　2017-18メモリー

P24　2018-19メモリー

P25　2019-20メモリー

P26　2020-21メモリー

P27　2021-22メモリー

P28　2022-23メモリー

P29　2023-24メモリー

P30　2024-25メモリー

P31　2025-26メモリー

P32　40周年記念式典の写真集

Founding anniversary



1987年　創立総会

於大宮サンパレス

1991年　5周年 記念式典

於道山閣



5th Anniversary

10th Anniversary



1996年　10周年 記念式典

於パレスホテル大宮

2001年　15周年 記念式典

於パレスホテル大宮



15th Anniversary

20th Anniversary



2006年　20周年 記念式典

於パレスホテル大宮

2011年　25周年 記念式典

於パレスホテル大宮



25th Anniversary

30th Anniversary



2016年　30周年 記念式典

於パレスホテル大宮

2026年　40周年 記念式典

於パレスホテル大宮



40th Anniversary

クラブ概要

項目	内容
創立年月日	1987年3月3日（大宮サンパレス）
国際ロータリー加盟承認	1987年3月30日
佐野康博ガバナー公式訪問	1987年4月28日
加盟認証状伝達式	1987年6月15日（大宮市民会館）
スポンサークラブ	大宮ロータリークラブ
特別代表	久保田 耕司
拡大補佐	西川 忠悌
スポンサークラブ会長	矢崎 真助
チャーターメンバー	43名
韓国南安養RC 姉妹締結	1988年10月15日
インターアクトクラブ認証状伝達式	1989年6月3日（さいたま市立大宮西高等学校）　2020年解散
インターアクトクラブ認証状伝達式	2023年9月12日（さいたま市立大宮国際中等教育学校）

歴代会長・幹事

代	年度	会長	幹事
1	～1987	大塚 薫	横田 昌明
2	1987～1988	大塚 薫	横田 昌明
3	1988～1989	久世 晴雅	勝野 弘行
4	1989～1990	関根 直幹	石塚 栄一
5	1990～1991	横田 昌明	安原 博宣
6	1991～1992	石塚 栄一	飯野 章
7	1992～1993	山口 勲	江原 眞之介
8	1993～1994	安原 博宣	酒井 正次
9	1994～1995	飯野 章	勝野 由行
10	1995～1996	徳永 誠三	坂本 克己
11	1996～1997	清水 喜彦	町田 宏遠
12	1997～1998	坂本 克己	小川 洋輝
13	1998～1999	石井 秀孝	守谷 実
14	1999～2000	小川 洋輝	大成 哲
15	2000～2001	倉科 勲	樋口 領治
16	2001～2002	塚谷 佑三	静 幸男
17	2002～2003	久保 哲郎	桑原 克己
18	2003～2004	阿由葉 晃市	清水 喜彦
19	2004～2005	岩渕 孝男	大矢 茂
20	2005～2006	酒井 正次	坂 仁視
21	2006～2007	星野 時夫	切敷 健一
22	2007～2008	林 正憲	川嵜 彦一
23	2008～2009	守屋 実	小川 裕児
24	2009～2010	品川 喜久郎	勝野 由行
25	2010～2011	切敷 健一	熊木 広光
26	2011～2012	勝野 由行	酒井 正次
27	2012～2013	泉 英明	長谷川 政功
28	2013～2014	熊木 広光	飯野 忠
29	2014～2015	長谷川 政功	守屋 実
30	2015～2016	佐野 巖	町田 宏遠
31	2016～2017	南 慎一郎	深田 将由
32	2017～2018	坂 仁視	入江 信仁
33	2018～2019	入江 信仁	星沢 義隆
34	2019～2020	樋口 領治	山田 善信
35	2020～2021	見富 清一	藤堂 哲志
36	2021～2022	石川 力哉	鈴木 真琴
37	2022～2023	堀越 太志	坂庭 広樹
38	2023～2024	吉澤 俊一	坂 仁視
39	2024～2025	山田 善信	溝口 昌史
40	2025～2026	鈴木 真琴	溝口 誠

OMIYA CHUO ROTARY CLUB

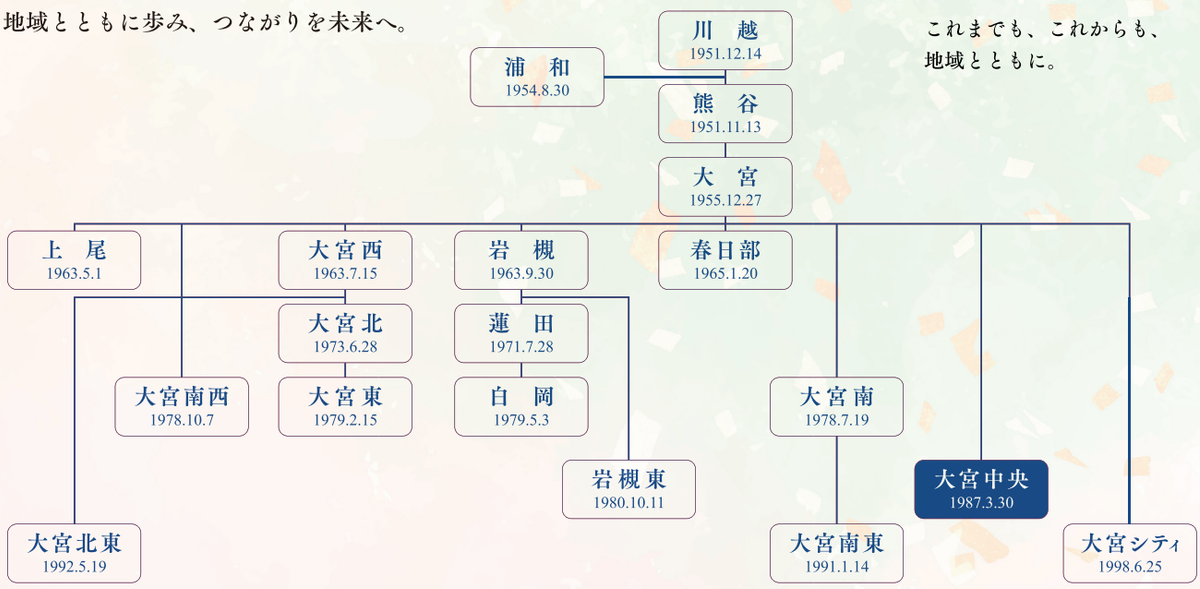
大宮中央ロータリークラブ系図

Our Heritage, Our Future

地域とともに歩み、つながりを未来へ。

40th ANNIVERSARY

これまでも、これからも、
地域とともに。



白　　岡	2009	ＲＩ脱　退
大宮南西	2012.6.30	ＲＩ脱　退
大宮南東	2015.6.30	ＲＩ脱　退
大　宮　北	2024	ＲＩ脱　退

鈴木年度会員リスト

	名前
1	石川 力哉
2	泉 英明
3	伊東 八重子
4	井上 明
5	入江 信仁
6	奥野 敏夫
7	大塚 洋平
8	小川 一徳
9	小川 千絵
10	加藤 郁也
11	柏木 英太
12	切敷 健一
13	久世 晴雅
14	熊木 広光
15	才間 朋子
16	坂 仁視
17	坂庭 広樹
18	坂本 仁

	名前
19	佐口 盛人
20	芝本 明彦
21	鈴木 真琴
22	立石 精
23	中村 麗
24	西村 芳高
25	林 正憲
26	東山 大
27	星野 時夫
28	堀越 太志
29	町田 宏遠
30	見富 清一
31	溝口 誠
32	溝口 昌史
33	村田 拓郎
34	山田 善信
35	吉澤 俊一
36	渡邉 香織

あいさつ



2025-26年度
第40代　大宮中央ロータリークラブ
会長　鈴木真琴

私が大宮中央ロータリークラブに入会してから17年が経過致しました。沢山の先輩方や多くの仲間に囲まれ、本当にいい経験をさせて頂いています。そんな私が、記念すべき創立40周年の会長を引き受けるのは嬉しく、身が引き締まる思いでした。

年度を迎えるにあたり、周年事業積立金の使途について感じている事がありました。私としては、このお金はパーティーや寄付だけに使うのではなく、後々クラブの為になる様に活用したかったのです。当然ながら皆さんの考えも重要だと思い、アンケートや、例会を利用しての話し合いを行いました。

結果、会員増強目的でのオープン卓話例会の費用と、奉仕事業の原資としても使用させて頂く事となりました。

その後、創立40周年の奉仕事業内容の議論をし、暫く実施していなかった「継続奉仕事業」のスタート年度にしてはどうかという意見がありました。その対象としてNPO法人さいたまユースサポートネット様を選定させて頂きました。

そして年度がスタート。様々な継続奉仕事業も幕を開けました。お祭りでの射的遊びを出店し売り上げを寄付、マスのつかみ取り体験・水遊び・BBQ、そば打ち体験、ケーキ作り体験をしながらクリスマス会、といった形で会員参加型の奉仕事業が進んでいきました。

先日の3月3日、創立40周年記念式典においては、ユースの子供たちが合唱を披露。泣きながらも懸命に歌う姿や、本人自ら自身の苦しかった頃とユースへ出入りするようになってからの気持ちの変化などを含むスピーチに、目頭を熱くする参加者が多数いらっしゃいました。

そのおかげもあり、創立40周年記念式典は大成功だったと自信をもってご報告出来る事に安堵しています。

結びに、間違いなく私の人生はロータリークラブへの入会で厚みを増しました。おそらく、諸先輩も同じなのではないでしょうか。その実感を、私より後に入会してきた方にも同様に味わってほしい。大宮中央というクラブに入会して良かった、と感じて欲しいです。

創立50周年に向けて、皆で楽しんでいきましょう。





祝　辞



さいたま市長

清水 勇人様

大宮中央ロータリークラブの創立40周年記念式典が、ご関係者多数ご臨席のもと、このように盛大に開催されましたこと、心からお祝い申し上げます。

鈴木真琴会長、熊木広光実行委員長、星野時夫式典委員長をはじめ、大宮中央ロータリークラブの皆様方におかれましては、40年の長きにわたり、大宮中央ロータリークラブを発展させてこられましたことに敬意を表するとともに、地域社会に大きな貢献をしてくださっていることに、心から感謝を申し上げます。

またこのたびは、創立40周年を記念して、大宮区役所の敷地内に旧区役所の桜から育成された桜の苗木を寄贈いただきました。皆様の温かいご支援のおかげで、旧大宮区役所の敷地にあった桜の記憶が、接ぎ木として新たな場所で花開き、大宮の歴史を伝承する象徴となりました。植樹いただいた桜の木は、地域の皆様や来訪者の方々に長く愛される存在となるよう、丁寧に育ててまいります。皆様のお心遣いに心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、大宮盆栽村が開村百周年を迎え、日本が誇る盆栽文化の素晴らしさを国内外に広く届けました。

ここ大宮では、武蔵一宮氷川神社において、大宮の歴史と伝統をテーマにしたプロジェクションマッピングを実施したほか、鐘塚公園において盆栽夜市を開催し、大変好評をいただきました。

また、令和6年にスタートした政令指定都市初となるデジタル地域通貨「さいたま市みんなのアプリ」は、利用者数は27万人、加盟店数は3,000店舗を超え、着実に利用環境が拡大しています。

こうした様々な取組の結果、最新の市民意識調査の結果では、本市を「住みやすい」、「住み続けたい」と感じる方が6年連続で85%以上となる高い評価をいただくことができました。また、つい先日発表された「スーモ住みたい街ランキング　首都圏版」では、大宮が三年連続の2位にランクインしました。こうした高い評価は、ロータリークラブの皆様をはじめ、市民や事業者の皆様のご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。

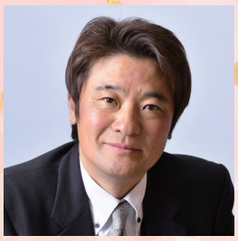
迎えた新年は、平成13年に誕生したさいたま市にとって誕生25周年の節目の年です。

誕生から4半世紀を迎え、今まさにさいたま市の「シンカ」が問われています。今日まで本市の発展を支えてくださった市民の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、これまでの歩みを礎に、引き続き多くの皆様のお力をお借りしながら、さいたま市は次の時代へのさらなる「シンカ」を遂げてまいります。

地域で信頼と奉仕の実績を積み重ねて来られた大宮中央ロータリークラブのロータリアン各位におかれましては、引き続き市政の発展にお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びに、大宮中央ロータリークラブが、40年の歴史を礎としながら、ここから未来に向けてますます発展されることをお祈りすると同時に、ご参会の皆様のご健康とご多幸を祈念し、私のお祝いの言葉といたします。

祝　辞



（一社）国際ロータリー
第2770地区
ガバナー
熊木 雄太郎様

大宮中央ロータリークラブ創立４０周年、誠におめでとうございます。

国際ロータリー第２７７０地区を代表して、謹んで心よりお祝い申し上げます。

１９８７年３月３日以来、歴代会長・会員が紡いでこられた４０年の歩みに、地区ガバナーとして心より敬意を表します。

とりわけ大宮中央ロータリークラブを率いる鈴木真琴会長が掲げる力強い会員増強の意気込みは、クラブの未来をさらに明るくするものと確信しております。

また、姉妹クラブである3750地区南安養ロータリークラブとの友情は、国境を越えた信頼の証です。

こうした国際親善と、地元に根ざした子どもたちへ未来を支える記念事業への取組は、まさにロータリーの本質であります。

そして、1997年には、久世晴雅ガバナーを輩出され、その年度はクラブを挙げて尽力があったと伺っております。

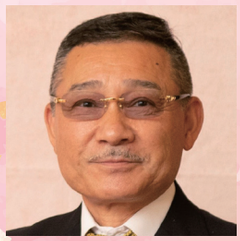
そして久世ガバナー年度に、私自身も入会しており、公式訪問ではバッジをつけて頂きました。

不思議なご縁を感じながら、本日のこの日をともにお祝いできますことを大変光栄に存じます。

さらに本クラブには2019年度、同期として共に歩んだ熊木広光管理運営部門委員長も在籍しておられ、人を育てリーダーを生み出す土壌こそが四十年を支えてきた力でありましょう。

四十年の誇りを胸に、さらなる飛躍の未来へ、心よりお祝い申し上げ、わたくしの祝辞とさせて頂きます。

祝　辞



（一社）国際ロータリー
第2770地区
第３グループ
ガバナー補佐
中村 芳彦様

この度、めでたく大宮中央ロータリークラブがクラブ創立40周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

さて資料によれば、大宮ロータリークラブをスポンサークラブとして1987年3月3日にクラブ創立され、3月30日にご承認されています。

初代 大塚 薫会長からロータリー活動が始まり、1997～98年度パストガバナー 久世晴雅氏を輩出され、今年度40代 鈴木真琴会長まで歴史と伝統を重んじた名門クラブです。

そして、韓国地区交流活動が久世パストガバナー年度から始まり、現在も交流が続いています。奉仕活動においては、姉妹クラブの韓国南安養ロータリークラブとの友好事業や青少年育成支援、グローバル奉仕活動、災害復興支援、そして国際ロータリー2770地区活動は素より第3グループの活動もリードされ、幅広く奉仕活動を行っています。

創立40周年記念事業として、「さいたまユースサポートネット」では学習支援や生徒の大切な居場所つくりに取り組み、記念式典での子供たちの屈託のない笑顔と合唱には目頭が熱くなるような感動を覚え、忘れられない記念事業ではないでしょうか。

クラブの皆様は、寛容の心を大切に一つ一つ積み重ねた賜ものが、今日の姿であると心より敬意を表します。

結びに、大宮中央ロータリークラブの益々のご活躍と皆様のご隆盛を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。このたびは誠におめでとうございます。

祝　辞



（一社）国際ロータリー
第2770地区
大宮ロータリークラブ
会長
大竹 敦様

大宮中央ロータリークラブ創立40周年を祝して

大宮中央ロータリークラブ創立40周年、誠におめでとうございます。

この記念すべき節目にあたり、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは、1987年（昭和62年）、大宮ロータリークラブより9名の会員が志を持って移籍し、新たな一歩を踏み出されたことにより誕生いたしました。その創立の精神は、地域に新たな奉仕の輪を広げたいという強い思いに支えられていたものと拝察いたします。

以来40年にわたり、社会の変化とともに多様化する地域課題に向き合いながら、貴クラブは着実に奉仕活動を積み重ねてこられました。その歩みはロータリーの理念を体現するものであり、本日のご隆盛は歴代会長をはじめ会員各位のご尽力の賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

また、1997年には久世晴雅ガバナーを輩出されるなど、地区においても大きな役割を果たされてこられましたことは、誠に意義深く、貴クラブの高い志と結束力を示すものと感じております。

さらに本年度、鈴木真琴会長、溝口誠幹事のもと、第3グループ合同奉仕事業として実施された献血啓蒙セミナーにおいては、私どももご一緒させていただき、クラブの垣根を越えた連携のもと、「UNITE FOR GOOD」の精神を具現化する貴重な機会となりました。こうした実践こそが、これからのロータリーのあるべき姿を示しているものと感じております。

親クラブである大宮ロータリークラブにとりましても、貴クラブの存在は大きな誇りであり、これまでともに歩んできた歴史に深い喜びを感じております。

40年という節目は、これまでの歩みを振り返るとともに、新たな未来への出発点でもあります。今後とも地域社会における奉仕の灯をさらに力強く掲げられ、次の50年、そしてその先へと、ますますご発展されますことを心より祈念申し上げます。

結びに、大宮中央ロータリークラブの益々のご隆盛と、会員皆様のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞



国際ロータリー3750地区
南安養ロータリークラブ
会長
이 학종様
（イ・ハクジョン）

尊敬する鈴木真琴会長、そして大宮中央ロータリークラブのロータリアンの皆様、本日は誠におめでとうございます。創立40周年という記念すべき節目に際し、国際ロータリー第3750地区南安養ロータリークラブを代表し、心よりお祝い申し上げます。

本日のRI加盟承認40周年記念式典ならびに調印式のご開催にあたり、ご準備にご尽力くださいました鈴木会長をはじめ役員・会員の皆様に深く敬意を表します。この意義深い式典に参加できますことを大変光栄に存じます。

2025－26年度RI会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」のもと、クラブ発展と地域社会への奉仕に尽力されている皆様のご努力に、心より敬意と感謝を申し上げるとともに、両クラブは長年にわたり姉妹クラブとして交流を重ね、相互訪問を通じて揺るぎない友情を築いてまいりました。昨年5月の南安養ロータリークラブ創立45周年記念式典にご臨席いただいたことにより、友好は一層深まりましたことをあらためて御礼申し上げます。

結びに、大宮中央ロータリークラブのさらなるご発展と、会員ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝　辞



さいたま市立
大宮国際中等教育学校
校長　**根岸 君和様**

大宮中央ロータリークラブ様におかれましては、創立四十周年という輝かしい節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり地域に根ざした奉仕活動を継続され、世代を超えて、世界を越えて人と人とを結び続けてこられました、これまでの歩みに深い敬意を表します。

貴クラブには本校インターアクト部の活動に対しまして、これまで多大なるご支援と温かなご指導を賜ってまいりました。特に昨年度、本校の生徒会長がインターアクト部長を務め、例会において活動報告をさせていただくなど、部員とともに様々な機会を頂戴し、誠にありがとうございます。さらに、私は今年度第４０代鈴木真琴会長には公私ともに大変お世話になり、様々なつながりに心より感謝申し上げます。

さて、貴クラブにおける献血ワークショップやポリオ撲滅などの様々なボランティア活動は、本校生徒たちにとって教室だけでは決して得られない貴重な学びの場となっております。社会問題を机上の知識として理解するだけでなく、「今の自分に何ができるのか」を実際の行動として考え、実行する経験はまさに生きた教育そのものです。

そして、募金活動のように成果が目に見えやすい奉仕もあれば、献血のように校内に留まりながらも確実に社会へとつながる活動もあります。いずれの場面においても、生徒たちは実に生き生きと活動し、初対面の方々と対話を重ね、自分たちの思いやメッセージを言葉として伝えてきました。その姿からは、奉仕とは「誰かのために行動すること」であると同時に、「自らを社会の一員として自覚する営み」であることが、貴クラブとのかかわりの中で本校の生徒たちに自然と育まれております。

これらの活動は本校の特徴である国際バカロレアの教育活動と大変親和性が高く、生徒自身が主体的に新たな取組みを立ち上げようとする動きも生まれています。奉仕を「与えられるもの」ではなく、「自分たちが創り出すもの」として捉え始めたことは、将来、社会に貢献する人材として成長していく上で、何よりの原動力になると確信しております。

貴クラブが四十年にわたり積み重ねてこられた奉仕の精神は、確かに次世代へと受け継がれています。今後とも本校教育活動への変わらぬご支援をお願い申し上げるとともに、大宮中央ロータリークラブ様のますますのご発展と、会員皆様のご健勝を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。

お礼の言葉



大宮中央
ロータリークラブ
パストガバナー
久世 晴雅
（創立会員）

1987年3月3日、私共 大宮中央ロータリークラブは43名の会員のもと創立総会を開催、スタート致しました。

時のガバナー佐野康博さんは、当時の状況より新幹線級のスピードで発足されたクラブと絶賛されました。

夜の例会の先駆け、ナイトクラブとしても地区内でも2クラブ目として注目を集めたクラブでした。

以来、歴代の会長・幹事・役員の努力により40周年を迎えることができました。

大宮西高インターアクトクラブ活動、韓国 南安養ロータリークラブとの姉妹締結、財団、米山奨学会の協力等、会員の皆様のご尽力、ご協力の賜ものです。

今後とも次なる45周年、50周年と発展されることを祈念し、皆様に更なるご支援を期待してお礼のことばといたします。





お礼の言葉



40周年記念
実行委員長
熊木 広光

絆を継ぐ　希望を継ぐ　伝統を継ぐ

先日は、大宮中央ロータリークラブ創立40周年記念式典へ、多数のご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。皆様のおかげで、式典と祝賀会を盛会のうちに執り行えました。これもひとえに、長きにわたるご支援とご指導の賜物であり、深く感謝いたします。

さいたま市長清水勇人様、国際ロータリー第2770地区ガバナー熊木雄太郎様をはじめ、ご多忙の中ご臨席くださった来賓の方々へ、改めて感謝申し上げます。

式典は40周年を迎えたクラブとして、会長が掲げた「継ぐ」というコンセプトのもと、以下の決意を示しました。

・**絆を継ぐ**：準備段階から会員全員で協力し、地域との触れ合いを通じて絆を深める。

・**希望を継ぐ**：未来を担う青少年へ、奉仕活動を通じて希望を育む。

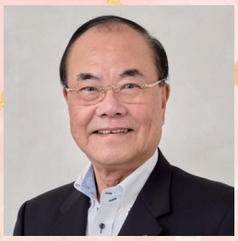
・**伝統を継ぐ**：クラブの伝統を大切に、以前の大宮駅前、見沼田んぼ道に加え、大宮区役所への桜の植樹を実施。

式典の演出は、会場の装飾・プログラムデザイン・映像は、クラブバナーの桜と氷川神社をモチーフに企画されました。

この記念の年を機に、大宮中央ロータリークラブは、今後も全会員が結束し、互いを信頼し、親睦を深め、地域に愛されるクラブを目指し、奉仕の理念を持って活動に邁進する所存です。皆様の温かいご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、そしてロータリーのさらなる発展を祈念し、御礼の言葉とさせていただきます。

祝　辞



40周年記念
式典委員長
星野 時夫

大宮中央ロータリークラブ40周年記念式典委員長を仰せつかりました星野時夫です。

40周年式典を挙行するまで、今年度、7月から始まって毎月、実行委員会を重ねていろいろな角度から検討を重ねてまいりました。

そして、式典当日には、全会員のご協力はもとより、会員パートナーの皆様方のご協力があって無事に3月３日、創立40周年記念式典を終了することが出来ました。

改めて大宮中央ロータリークラブの一体感を肌で感じさせていただきました。

今まで、諸先輩方々のご努力があり、RI、地区のご指導、近隣クラブのご協力があって今日が迎えられたのだと、改めて感じた次第です。

心から感謝申し上げます。

当日のプログラムにも掲載してありますが、鈴木会長の「継」という40周年の想いを、全会員一丸となって45周年、50周年へとつないでいければと願っております。



祝　辞



40周年記念
奉仕事業委員長
山田 善信

このたび創立40周年という大きな節目を迎え、記念式典を無事に終えることができました。まずは、ご来賓の皆様をはじめ、日頃より当クラブを温かく見守り、支えてくださっている皆様に、心より感謝申し上げます。

このような周年事業を開催するにあたり、40周年記念奉仕事業委員長として携わらせていただき、過去の資料を拝見する機会が多数ありました。クラブの結成時、地元地域への奉仕活動、青少年の育成支援の奉仕活動、国際奉仕活動、姉妹クラブとの締結と長年にわたる交流、そして会員の増強や維持につながる親睦活動など、とても活力あふれるロータリー活動の想い出に触れたことで、今回の40周年の歴史の重みを感じ、諸先輩方の長年に渡る功績に敬意を表します。

私は今回40周年記念奉仕事業委員長という役目を務めさせていただきましたが、その中で改めて感じたのは、ロータリーの魅力は「人のため、地域のために力を合わせること」にあるということです。記念事業として、さいたまユースサポートネットへの支援や、大宮区役所への桜の木の植樹を行うことができたのも、多くの皆様のお力添えがあってこそでした。未来を担う若者たちへの応援、そして地元地域の中で育っていく桜の木に、私たちの想いを込めることができたことを、大変うれしく思っております。

準備から当日までを通して、多くの会員の皆様がそれぞれの立場で力を尽くしてくださり、改めて当クラブの温かさと結束の強さを感じました。仲間とともに一つの節目を形にできたことは、私にとっても大変貴重な経験となりました。

40周年は一つの通過点であり、ここからまた新たな一歩が始まります。これまで受け継がれてきた奉仕の心を大切にしながら、地域に親しまれ、必要とされるクラブとして、これからも歩んでまいりたいと思います。今後とも、大宮中央ロータリークラブへのご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

40年のあゆみ

40 Years of History

1987年　大宮中央ロータリークラブ創立

3月3日

大宮ロータリークラブをスポンサー・クラブとして、43名を以って創立。同年3月30日加盟承認。

6月15日

大宮市民会館に於いて認証状伝達式の挙行。当時の第257地区で89番目、第11分区で7番目、県下で2番目のイブニングクラブとして発足、以来40年を経て現在に至る。

年度	会長	内容
1986-87 1987-88	初代・2代 大塚 薫会長	・クラブ奉仕、社会奉仕に力を入れた年度で大塚会長の人間性豊かな人柄を感じた年度である。
1988-1989	第3代 久世 晴雅会長	・1988年10月15日　韓国第3750地区南安養ロータリークラブとの姉妹締結調印。 ・1989年6月3日　大宮西高校インターアクトクラブ認証状伝達式挙行。 ・国際奉仕事業に力を入れた年度で、久世会長の活力がそのまま当クラブの活力となった。
1989-1990	第4代 関根 直幹会長	・世界社会奉仕活動として、ザイール身体障害者リハビリセンターに全会員のカンパによる100万円の寄付。 ・国際奉仕、社会奉仕に力を入れた年度である。関根会長の卓越した指導力をみる。例会場をそごうデパートよりジャック大宮に移す。
1990-1991	第5代 横田 昌明会長	・大塚 薫分区代理選出。 ・1991年3月3日　道山閣に於て創立5周年記念式典挙行。 ・全会員のカンパによるヨルダン赤十字社に100万円の寄付。 ・国際奉仕、クラブ奉仕に力を入れた年度である。横田会長の勉強さにひきつけられる。自前の事務局を持つ。
1991-1992	第6代 石塚 栄一会長	・1991年10月17日　韓国第3750地区南安養ロータリークラブとの姉妹締結再調印。 ・ザイール身体障害者リハビリセンターに2回目の100万円寄付。 ・国際奉仕、社会奉仕に力を入れた年度で石塚会長の熱心さが現れた年度である。
1992-1993	第7代 山口 勲会長	・クラブ奉仕、R情報、特に出席に力を入れた年度である。山口会長の木目細かな配慮が伺えた年度である。前年出席率93.80％
1993-1994	第8代 安原 博宣会長	・関根直幹分区代理選出。 ・1994年1月16日　大宮西高校インターアクトクラブ創立5周年記念式典挙行。 ・安原会長の「関根分区代理を男にしよう」の合言葉で積極的な年度である。
1994-1995	第9代 飯野 章会長	・1994年10月15日　韓国第3750地区南安養ロータリークラブ姉妹締結再調印。 ・夫人同伴親睦旅行、カラオケ大会、ホーム例会100％出席の実施など親睦に力を入れた年度である。

40年のあゆみ

1995-2004　大宮中央ロータリークラブ

年度	代・会長	内容
1995-1996	第10代 徳永 誠三会長	・久世晴雅分区代理選出。 ・1996年度 3月2日10周年記念式典挙行。（大宮パレスホテル） ・2名の青少年交換学生受入れ、米山奨学生受入れ、韓国第3750地区青少年交換団「青年の翼」受入れ、地区韓国インターアクト生受入れ、GSEの受入れと国際交流事業に忙しくも有意義な年度である。
1996-1997	第11代 清水 喜彦会長	・地区インターアクト年次大会において大宮西高校をスポンサークラブとしてホスト、職業奉仕委員会による会員企業紹介ビデオ放送。 ・交通遺児母の会、チャリティゴルフ大会やクリスマスチャリティコンサート等を主催し、清水会長の指導力が大いに評価された1年です。
1997-1998	第12代 坂本 克己会長	・久世ガバナーの輩出にともない、地区大会開催、クラブ拡大等地区関係優先の1年ではありましたが、ガバナーの輩出がなければ経験出来なかったことを勉強する機会を得てまた更に会員同士の団結力をもってガバナーのホストを務めることが出来た喜びを坂本会長は肌で感じられたことでしょう。 ・この年大宮中央RCと韓国南安養RC姉妹締結10周年記念式典を新見世さんに於いて挙行、梁パストガバナーをはじめ多くの会員、会員夫人同席の上、再調印をいたしました。
1998-1999	第13代 石井 秀幸会長	・発想豊かな石井会長のもと、一丸となって「花と国際交流・ウォーキングスタンプラリー」に取り組み、日本在住外国人を含め約300名の参加で大盛況に終了。また職業奉仕委員会によるボケーショナルコーナーの週報掲載、ルックアップニュースの発刊と積極的な活動を展開しました。
1999-2000	第14代 小川 洋輝会長	・ここ何年か忙しく事業が展開されておりましたので、クラブ内を見つめ直し、会員、会員夫人の親睦に力を入れ、「何もしない一年」という会長方針に基づき、納涼例会、美川憲一クリスマスディナーショー、最終例会などご夫人方に喜んで頂く例会を企画、ご夫人共々大いに笑い楽しませて頂いた年度でした。
2000-2001	第15代 倉持 勲会長	・2001年3月3日15周年記念式典挙行。（大宮パレスホテル） ・韓国第3750地区南安養ロータリークラブ姉妹締結再調印。
2001-2002	第16代 塚谷 祐三会長	・石塚栄一ガバナー補佐選出。 ・増強に力を注ぎ、10名の新入会員を迎える。 ・「楽しい例会　どうすればできるか」を合言葉にサイパンへの親睦旅行、屋形船例会、そば打ち家族例会等、親睦に力を注いだ年度でした。
2002-2003	第17代 久保 智郎会長	・職業情報に重きを置く中で「貴方のこと　もっと知りたいの」と題して、多くの時間を会員卓話にあてました。 ・例会場がそごうから、サンパレスに替わる。
2003-2004	初代18代 阿由葉 晃一会長	・「先達」に学ぼうをテーマに、会長挨拶に先人の名言を取り入れるなど、ロータリーの啓発に阿由葉会長は尽力されました。 ・南安養RCとの15周年調印式に親睦旅行を兼ね、総勢38名で訪韓する。 ・地区No.1の増強を果たす。

40年のあゆみ

2004～2011

年度	代・会長	内容
2004-2005	第19代 岩渕 孝男会長	・2005年5月11日南安養RC創立25周年式典に26名で訪韓する。 ・ロータリー100周年を記念して、南安養RCとのマッチンググラントにおいて安養市のヨルモツク社会総合福祉会館にリハビリ器具を贈呈する。 ・障害児施設(おもちゃ図書館)の慰問等、社会奉仕に力を注いだ年度であった。
2005-2006	第20代 酒井 正次会長	・2006年3月4日20周年記念式典挙行(大宮パレスホテル) ・腎・アイバンク人道支援記念ゴルフ大会をホストし、森田ガバナーを支援する。
2006-2007	第21代 星野 時夫会長	・3days職業体験プログラムに中学生を会員企業に受入れ、社会体験させる。 ・ウェスティンホテル東京におけるクリスマス例会を始め、目黒雅叙園、百段階段の見学、フジテレビ見学や蓼科への親睦旅行など、夫婦同伴イベントを多く開催した年度でした。
2007-2008	第22代 林 正憲会長	・入会3年未満の会員さんを対象にした家庭集会を毎月行うなど、職業奉仕の研修会を積極的に実施しました。 ・会員増強に力を注ぎ、15名の新入会員を迎え入れました。 ・今年度の一大イベントとして、チャリティミュージカルコンサートを開催、ロータリー関係、一般の方を含め500名が集まり、大成功に終わる。
2008-2009	第23代 守屋 実会長	・さいたま市の社会福祉協議会への寄付を目的に、ロータリーベンチャーズによるチャリティーコンサートを挙行する。 ・守屋会長の「ロータリーに心を注ごう」を合言葉に、人道支援を目的とした社会奉仕事業に力を注いだ年度である。
2009-2010	第24代 品川 喜久郎会長	・林ガバナー補佐を選出、第3グループのIM開催に全会員と共に尽力する。 ・米山奨学生の甄媛さんを送り出し、汪樂澄を受け入れる。2010年5月13日南安養RC創立30周年記念式典に20名で参加。 ・しらこばとフィッシング祭りでの、障害者のサポートや老人ホーム(美星苑)への入浴車イスの寄贈など、人道支援に力を入れた年度でした。
2010-2011	第25代 切敷 健一会長	・25周年記念事業の一環として、ポリオ撲滅チャリティーコンサートの開催や日本アイススレッジ協会に用具等を支援するなど、国際奉仕・社会奉仕事業等に積極的な展開をいたしました。 ・7月 新道山家にて夫人同伴花火見物例会。 ・11月 25周年記念「ポリオ撲滅チャリティコンサート」をロイヤルパインズホテルにて開催。(ロータリーベンチャーズ協力により350名参加) ・12月 クリスマス例会をパレスホテルにて開催。アトラクションは大宮西高校ダンス部・会員夫人コーラス。 ・2011年3月3日 大宮中央RC創立25周年記念式典を盛大に挙行する。 3月 東日本大震災発生 ・6月 台湾へ会員旅行。(27名参加)

40年のあゆみ

2011～2016

年度	代・会長	主な出来事
2011-2012	第26代 勝野 由行会長	東日本大震災復興支援活動の一環として会員旅行を兼ねた被災地視察を実施し、現地の現状を学ぶとともに今後の支援に繋がる貴重な機会といたしました。社会奉仕活動としては、１１月にポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペを開催し、１６０名の参加を得て盛大に行うことができ、その収益をポリオ撲滅支援に充当いたしました。併せて、継続事業である「杉の子学園」うどん打ちを実施し、施設の皆さまと温かい交流を深めました。国際交流の分野では、「青年の翼」事業を実施し、高校生および会員１１名が韓国を訪問するとともに、地区ＩＡ生の訪日・訪韓も実施し、青少年交換事業の一層の推進に努めました。さらに、パレスホテルで開催したクリスマス例会では会員令夫人によるコーラスが披露され、会員相互の親睦を一層深める和やかなひとときとなりました。
2012-2013	第27代 泉 英明会長	上尾ロータリークラブと合同で拉致被害者問題の講演会を行い、「ハイデイ日高」神田会長、「自治医大医療センター」荒尾先生、「国境なき子供たち」守谷専務理事による卓話を通じて人権と国際問題への理解を深めました。また、アミュー大宮見沼の施設内にベンチを寄贈し、入居者の方が憩える環境づくりに貢献するとともに、継続事業である杉の子学園でのうどん打ちを実施し、交流と体験を通じた温かな支援を続けました。さらに、「青年の翼」として高校生と会員の訪日団を迎え、また、地区IA生の訪日および訪韓も実施することで、若い世代に国際感覚を育み、相互理解を深める国際交流を推進しました。加えて、企業訪問を二度行い、九月には大宮RC飯野会員の矢板工場で生産管理を学び、五月には積水ハウス「住まいの夢工場」で最新の建築技術を見学することによって、職業倫理と専門性の向上について理解を深めました。会員旅行では会長の出身地である富山県を訪問し、一年を通じて泉会長ならではの視点と企画力が光る、多彩で実り多い活動となりました。
2013-2014	第28代 熊木 広光会長	青少年交換学生として松本怜己さんをブラジルへ派遣しエミリー・メグミ・ナカジマさんを受け入れたことは、当クラブが若い世代の国際感覚を育んでいる大きな成果であり、八月には「青年の翼」で大宮西高校生が韓国を訪問するなど、地域の若者が国際交流の第一歩を踏み出した一年となりました。また、五月には会員がシスタークラブ南安養ロータリークラブの三十四周年記念式典に出席して国際親善と友情を深め、社会奉仕事業としてさいたま市の「ひまわり学園」に遊具を寄贈して子どもたちの笑顔づくりに貢献するなど、ロータリーの理念を具現化する活動を行いました。さらに親睦活動では「社交ダンス」「大人のファッション」を通じてロータリアンとしての嗜みや立ち居振る舞いを学び、東京ベイコートでのクリスマス例会、元劇団四季の青山明氏を迎えての創立二十八周年記念ジャズとフレンチのタベ、「伊勢神宮参拝」の旅行、最終例会での物まね歌手SEIKOさんのアトラクションなど、多彩なプログラムを通じて会員同士の絆をいっそう深める一年となりました。
2014-2015	第29代 長谷川 政功会長	第3Gより浜野ガバナーを輩出し、本クラブからは星野ガバナー補佐を中心に、会長と会員が一丸となって取り組み、記念すべき年度となりました。社会奉仕事業としては、ロータリーデーに上尾ロータリークラブと合同で福島県本宮市長をお迎えし、東日本大震災における「風評被害の現実について」と題した講演会を開催いたしました。国際交流の分野では、「青年の翼」事業を実施して韓国を訪問し、現地の人々との交流を深めました。親睦活動では、花火観賞家族ゆかた例会、箱根湯本富士屋ホテルでの新年例会、最終例会ではフラダンスの余興と、多彩な行事を通じて会員相互の親睦を図ることができました。
2015-2016	第30代 佐野 巌会長	創立30周年を迎えるにふさわしく、初例会を皮切りに、高島屋屋上での納涼例会、ボウリング大会、クリスマス例会での劇団四季「リトルマーメイド」観劇、シルク・ドゥ・ソレイユ観劇など、多彩な親睦行事を開催しました。また、青少年交換事業として大宮西高校生の清水さんをアメリカへ派遣し、ジェネッサを受け入れるとともに、地区ＩＡ生の訪日・訪韓も実施し、次世代の育成に注力しました。さらに、ロータリーフェスタに参加し福島県本宮市への支援バザー、「杉の子学園」でのそば打ちなど、社会奉仕活動にも積極的に取り組みました。そして、3月3日には久世実行委員長のもと、創立30周年記念式典をパレスホテル大宮において、さいたま市長清水勇人様、地区ガバナー井原實様、南安養RCをはじめ多くのロータリー関係者をお招きして挙行し、本年のクラブテーマ「出会いに感謝して」を体現する一年となりました

40年のあゆみ

2016～2019

年度	代・会長	内容
2016-2017	第31代 南慎一郎会長	クラブ創立以来積み重ねてきた例会が1500回という大きな節目を迎えた。31周年記念例会では、500回・1000回例会を経験した歴代役員が登壇し、クラブの歩みを振り返るとともに、更なる発展への期待が語られた。また、第3グループ・インターシティミーティングでは、第1500回記念例会として各クラブ紹介や新会員紹介を行い、大宮中央ロータリークラブの活動を広く発信した。「楽しく生き生きとしたクラブにしよう!」をテーマに掲げ、第1500回例会という歴史的節目で、インターシティミーティング、日韓交流・青少年交換事業、子ども食堂支援、杉の子学園交流など、親睦と奉仕を両立させた一年であった。また、新会員増強や米山奨学生・青少年育成にも積極的に取り組み、次年度へつながる基盤づくりが進められた。
2017-2018	第32代 坂仁視会長	この年度は「青少年交換・日韓交流」「カンボジア支援」「子ども食堂支援」「創立32周年」「クラブ基盤強化」が大きな柱となっていました。 坂仁視会長年度は、「クラブを見詰め直そう」をテーマに、35周年・40周年を見据えた組織づくりを進めるとともに、青少年交換・日韓交流、カンボジア支援、子ども食堂支援など、地域社会と国際社会に貢献する奉仕活動を積極的に展開した。また、創立32周年を節目としてクラブの歴史を振り返り、会員増強や財団活動を通じて次世代へつながる基盤づくりを進めた年でした。
2018-2019	第33代 入江信仁会長	熊木ガバナー補佐を選出。第3第4グループのIM開催に全会員と共に尽力する。 2018-2019年度は、国際奉仕・青少年奉仕・地域社会への奉仕がバランスよく展開された年度であった。特にカンボジア・ノリア孤児院支援に向けた現地視察や、韓国・南安養RCとの姉妹クラブ交流は、クラブが長年培ってきた国際親善の歩みを象徴する活動である。 また、青少年交換事業では派遣・受入れを通じて若者の国際理解を支え、大宮北小学校での交通安全教室や土呂子ども食堂支援では、地域の子どもたちの安全と健やかな成長に寄り添った。ロータリーの理念である「奉仕の心」を、国内外のさまざまな場面で実践した一年であった。
2019-2020	第34代 樋口領治会長	「ロータリーは世界をつなぐ」のRIテーマのもと、国際奉仕と青少年奉仕を中心に多彩な活動を展開した一年であった。カンボジア・ノリア孤児院支援や韓国・南安養ロータリークラブとの交流を通じて国際親善を深める一方、青少年交換事業では次代を担う若者の育成に力を注いだ。また、ポリオ根絶活動などロータリーを代表する奉仕活動にも積極的に取り組んだ。 年度後半には新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、例会や事業の中止・変更を余儀なくされるという未曾有の局面を迎えたが、クラブは状況に柔軟に対応しながら結束を保ち、次年度へと活動をつないだ。社会が大きく変化する中で、奉仕の精神と仲間との絆の大切さを改めて実感した節目の一年であった。
2020-2021	第35代 見富清一会長	この年度はコロナ禍でも奉仕を止めなかった一年。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、クラブ活動のあり方そのものが大きく問われた一年であった。例会や各種事業は感染防止対策を講じながら実施方法を工夫し、オンラインの活用など新たな取り組みを取り入れ、会員相互の交流と奉仕活動の継続に努めた。 そのような状況下にあっても、カンボジア・ノリア孤児院支援をはじめとする国際奉仕、青少年交換事業や子どもたちを対象とした地域奉仕活動、さらにはポリオ根絶への支援など、ロータリーの理念に基づく活動を着実に推進した。困難な時代だからこそ奉仕の精神と会員の結束がより強く発揮され、次代へとつながる新たなクラブ運営の礎を築いた一年となった。

40年のあゆみ

2021～2026

年度	代・会長	内容
2021-2022	第36代 石川力哉会長	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、通常例会・オンライン例会・ハイブリッド例会を柔軟に取り入れながら、クラブ活動の継続に努めた一年であった。石川力哉会長年度は、創立36周年を迎えた大宮中央ロータリークラブの歩みを振り返るとともに、会員研修やクラブ協議会を通じて、クラブのあり方や今後の活動について理解を深める機会となった。 また、ガバナー公式訪問、地区大会への参加、ポリオ根絶運動への協力など、地区活動との連携を大切にしながら、ベトナム・ドンデュオイ村の子どもたちへの支援、青少年交換プログラムに関する学び、米山奨学生との交流など、国際奉仕・青少年奉仕にも積極的に取り組んだ。困難な状況の中でも奉仕の歩みを止めることなく、会員相互の親睦と結束を深め、次年度へと活動をつないだ一年であった。
2022-2023	第37代 堀越太志会長	コロナ禍から通常のクラブ活動への回復を着実に進めながら、ロータリーらしい奉仕活動を再び力強く展開した一年であった。地区補助金を活用した子ども食堂への児童図書寄贈や、地域の子どもたちを支える活動を通じて社会奉仕を実践するとともに、青少年交換事業ではスイスへの派遣や交換留学生の受入れを行い、国際理解と青少年育成に大きく貢献した。 また、第3グループ合同による「END POLIO NOW」募金活動や米山奨学生との交流など、ロータリーを象徴する国際奉仕にも積極的に取り組んだ。社会が新たな日常へ歩み始める中、会員が一丸となって奉仕の輪を広げ、地域と世界をつなぐ活動を着実に積み重ねた一年であった。
2023-2024	第38代 吉澤俊一会長	入江ガバナー補佐を選出。第3第4グループのIM開催に全会員と共に尽力する。通常のクラブ活動が完全に再開される中、地域社会への奉仕と国際理解の推進を柱として、多彩な活動を展開した一年であった。地区補助金事業では、子どもや若者を支援する団体との連携を深め、地域に根ざした社会奉仕を実践するとともに、米山奨学生との交流や国際奉仕委員会の活動を通じて、ロータリーならではの国際交流と人材育成にも力を注いだ。 また、第3・第4グループ合同IMへの参加や創立記念例会、クラブ協議会などを通じて、会員相互の結束とクラブの将来 を見据えた組織づくりを推進した。地域社会とのつながりを一層深めながら、「超我の奉仕」の理念を着実に実践した充実の一年であった。
2024-2025	第39代 山田善信会長	創立40周年を翌年に控え、これまで積み重ねてきた奉仕活動を振り返るとともに、次代へ向けた新たな歩みを着実に進めた一年であった。カンボジアでの国際奉仕活動や米山奨学生との交流を通じて国際理解を深める一方、ユースサポートネットとの連携など、地域の子どもや若者を支える社会奉仕にも積極的に取り組んだ。 また、創立記念例会では韓国・南安養ロータリークラブとの姉妹クラブ締結の歴史を振り返り、長年培ってきた国際親善の歩みを再確認した。さらに、40周年実行委員会や長期戦略委員会を中心に周年事業への準備を進め、クラブの伝統を未来へ受け継ぐための基盤づくりに力を注いだ一年であった。
2025-2026	第40代 鈴木真琴会長	大宮中央ロータリークラブにとって創立40周年という大きな節目を迎えた記念すべき一年となった。パレスホテル大宮で開催された創立40周年記念式典・祝賀会には、多くの来賓や友好クラブ、関係者が集い、40年にわたる歩みと奉仕の歴史を振り返るとともに、未来への新たな一歩を誓う機会となった。会場は終始あたたかな雰囲気に包まれ、会員一人ひとりの心に深く刻まれる、まさに大宮中央ロータリークラブらしい心温まる式典・祝賀会となった。 また、長年にわたり友情を育んできた韓国・南安養ロータリークラブとの姉妹クラブ再調印式を執り行い、国際親善の絆を次世代へ受け継ぐ新たな節目を迎えた。さらに、さいたまユースサポートネットへの支援を継続し、地域の子どもや若者に寄り添う社会奉仕を実践するなど、40年の伝統を礎に「超我の奉仕」の理念を着実に未来へつないだ一年であった。

2016-17 Memory

楽しく生き生きとしたクラブにしよう！



会長　南 慎一郎

RI会長　ジョン・F・ジャーム
RIテーマ　人類に奉仕するロータリー（Rotary Serving Humanity）
第2770地区ガバナー　浅水 尚伸
地区テーマ　楽しいロータリークラブを作り上げよう

第2016-2017年度事業内容

7月5日　南慎一郎年度がスタート。「楽しく生き生きとしたクラブにしよう！」をテーマに初例会を開催。

8月　ガバナー公式訪問例会を開催し、地区方針を共有するとともにクラブの結束を深めた。

9月　地区補助金を活用した社会奉仕事業を実施し、地域への奉仕活動を推進した。

10月　大宮西高等学校インターアクトクラブとの連携を深め、青少年奉仕活動を展開した。

11月　第29回日韓青少年交流事業を実施。韓国からの訪日団を迎え、高校生同士の交流を通じて国際理解と友情を育んだ。

12月　クリスマス家族例会を開催し、会員・家族相互の親睦を深めた。

2月　第1500回例会・創立31周年記念例会を開催。クラブの歴史を振り返る節目の年となった。

2月　第3グループ インターシティ・ミーティング（IM）に参加し、クラブ活動を広く発信した。

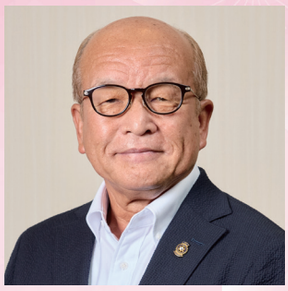
3月　地区補助金事業として「さいたま子ども食堂」支援を実施し、地域の子どもたちへの継続的な奉仕活動を推進した。

5月　杉の子学園そば打ち交流会を開催。施設利用者やインターアクトクラブ、留学生らとの交流を通じ、地域に根ざした社会奉仕活動を実施した。

年間を通して　青少年交換事業や米山奨学生支援など、次代を担う青少年の育成と国際奉仕活動の充実に取り組んだ。

2017-18 Memory

クラブを見詰め直そう



会長　坂 仁視

RI会長　イアン H.S. ライズリー
RIテーマ　ロータリー：変化をもたらす（Rotary: Making a Difference）
第2770地区ガバナー　大貫 等
地区テーマ　新たな行動　新たな感動

第2017-2018年度事業内容

7月5日　坂仁視年度がスタート。「クラブを見詰め直そう」をテーマに、35周年・40周年を見据えたクラブ運営を開始。

8月　ガバナー公式訪問例会を開催し、地区方針の共有とクラブ運営の充実を図った。

9月　地区補助金事業を推進し、地域社会への奉仕活動を継続した。

10月　大宮西高等学校インターアクトクラブとの連携を深め、青少年奉仕活動を展開した。

11月　カンボジア支援事業を継続し、日本語学校支援やノリア孤児院支援など国際奉仕活動を推進した。

年間　第30回日韓青少年交流事業、青少年交換事業を推進し、交換留学生の受入れ・派遣を通じて国際理解を深めた。

2月　創立32周年記念例会を開催し、クラブの歴史を振り返るとともに、次なる周年事業への歩みを進めた。

3月　地区補助金事業として「さいたま子ども食堂」支援を実施し、地域の子どもたちへの継続的な支援活動を行った。

4月　カンボジア視察報告例会を開催し、国際奉仕事業の成果を共有するとともに、ノリア孤児院への支援を継続した。

年間　米山奨学生の受入れ、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付活動を推進し、国際奉仕の充実を図った。

6月　最終例会を開催し、一年間の活動を振り返るとともに、次年度へバトンをつないだ。

2018-19 Memory

親睦を深め、ロータリーを楽しもう



会長　入江 信仁

RI会長　バリー・ラシン（Barry Rassin）
RIテーマ　インスピレーションになろう（BE THE INSPIRATION）
第2770地区ガバナー　中川 高志
地区テーマ　すべてはクラブ活性化のために
ー実り豊かな奉仕を目指してー



熊木ガバナー補佐を選出。第3第4グループのIM開催に全会員と共に尽力する。

第2018-2019年度事業内容

7月　入江年度がスタート。「親睦を深め、ロータリーを楽しもう」を会長テーマに掲げ、新年度事業を開始。

7月　青少年交換学生・宮本杏渚さんを派遣し、国際理解と青少年育成を推進。

9月　韓国・南安養ロータリークラブを訪問し、姉妹クラブとの親善交流を深める。

10月　第2770地区大会へ参加し、地区活動への連携と会員交流を図る。

11月　地区補助金事業として土呂子ども食堂支援・そば打ち交流会を開催し、地域の子どもたちとの交流を実施。

11月　大宮北小学校交通安全教室を開催。交通安全器具の寄贈や夜光リストバンドの配布を通じ、児童の交通安全意識向上に貢献。

通年　カンボジア・ノリア孤児院支援を継続。現地視察を実施し、グローバル補助金を活用した国際奉仕事業の推進を図った。

通年　米山奨学生との交流や卓話を通じ、国際理解と人材育成に取り組んだ。

通年　ロータリー財団・ポリオ根絶運動への支援活動を積極的に推進した。

6月　一年間の活動を総括し、地域社会・国際社会・青少年への奉仕活動を次年度へ引き継いだ



入江年度 親睦旅行（徳之島）



模擬信号機などをさいたま市に寄贈。
子供たちの交通安全教室で挨拶している様子。


模擬信号機などをさいたま市に寄贈
大宮中央RC
さいたま市に寄贈された模擬信号機

埼玉新聞にも掲載されました。

2019-20 Memory

ロータリーを楽しもう
～奉仕の輪を広げよう～



会長　樋口 領治

RI会長　マーク・ダニエル・マローニー（Mark Daniel Maloney）
RIテーマ　ロータリーは世界をつなぐ（ROTARY CONNECTS THE WORLD）
第2770地区ガバナー　小林操
地区テーマ　ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ

第2019-2020年度事業内容

7月　樋口年度がスタート。「ロータリーを楽しもう ～奉仕の輪を広げよう～」をテーマに新年度事業を開始。

7月　青少年交換事業を推進し、交換学生の派遣・受入れを通じて国際理解と青少年育成を図った。

8月　韓国・南安養ロータリークラブとの交流を継続し、姉妹クラブとしての親善と国際交流を深めた。

9月　カンボジア・ノリア孤児院支援を継続し、国際奉仕事業の充実に努めた。

10月　第2770地区大会に参加し、地区活動への理解と会員相互の交流を深めた。

10月　END POLIO NOW活動に協力し、ポリオ根絶に向けたロータリーの重点奉仕活動を推進した。

通年　米山奨学生との交流を継続し、国際親善と人材育成に取り組んだ。

通年　ロータリー財団への寄付・支援活動を積極的に推進した。

2～3月　新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例会や各種事業の中止・変更などクラブ活動に大きな影響を受けた。

6月　困難な状況下においても会員相互の結束を維持し、奉仕の理念を次年度へとつないだ



樋口年度　ポリオデーの様子

2020-21 Memory

ロータリーを楽しみ、奉仕を未来へ



会長　見富 清一

RI会長　ホルガー・クナーク（Holger Knaack）
RIテーマ　ロータリーは機会の扉を開く（Rotary Opens Opportunities）
第2770地区ガバナー　中里 公造
地区テーマ　新たな機会へのチャレンジで、クラブに活性を！

第2020-2021年度事業内容

7月　見富年度がスタート。コロナ禍に対応しながら新年度事業を開始。

通年　通年　感染防止対策を講じ、例会運営やクラブ活動を継続。必要に応じオンラインも活用した。

通年　カンボジア・ノリア孤児院支援を継続し、国際奉仕事業を推進した。

通年　青少年交換事業や青少年育成活動を可能な範囲で継続した。

通年　米山奨学生との交流を継続し、国際理解と人材育成に努めた。

通年　ロータリー財団への寄付・支援活動を推進した。

通年　END POLIO NOW運動への協力を通じ、ポリオ根絶活動を支援した。

通年　地区補助金を活用した地域奉仕事業を実施し、地域社会への支援を継続した。

年度を通じ　感染症の影響下でも会員相互の親睦と結束を深め、奉仕活動の継続に努めた。

6月　一年間の活動を総括し、新たなクラブ運営の経験を次年度へ引き継いだ



見富年度･中里公造ガバナー公式訪問



見富年度･初例会の様子

2021-22 Memory

Kool&Smart Rotary Life



会長　石川 力哉

RI会長　シェカール・メータ（Shekhar Mehta）
RIテーマ　奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために（Serve to Change Lives）
第2770地区ガバナー　松本輝夫
地区テーマ　奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2020-2021年度事業内容

7月　石川年度がスタート。初例会・入会式を行い、新年度事業を開始。

7月　クラブ協議会を開催し、上期事業・予算案を共有した。

通年　コロナ禍に対応しながら、通常例会・オンライン例会・ハイブリッド例会を柔軟に実施した。

8月　オンライン例会にて、会員増強維持について学び、クラブ活性化への意識を高めた。

9月　新入会員卓話を実施し、会員相互の理解と親睦を深めた。

10月　ガバナー公式訪問を受け、クラブ協議会を開催し、地区との連携を深めた。

10月　ポリオデーに例会を振替え、ポリオ根絶運動への意識を高めた。

11月　第2770地区大会へ参加し、地区活動との連携と交流を深めた。

12月　地区補助金事業報告を行い、社会奉仕活動を振り返った。

12月　クリスマス例会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

1月　クラブ協議会を開催し、下期事業・予算案を共有した。

2月　久世パストガバナーによる会員研修を実施し、ロータリーへの理解を深めた。

2月　創立36周年を迎えた大宮中央RCについて語り合い、クラブの歩みを振り返った。

3月　米山月間に因み、留学生による卓話を通じて国際理解を深めた。

4月　PETS報告および地区研修・協議会報告を行い、次年度への準備を進めた。

5月　ベトナム・ドンデュオイ村の子どもたちへの支援・贈呈式を実施した。

5月　青少年交換プログラムについて学び、青少年奉仕への理解を深めた。

6月　新入会員歓迎会を開催し、会員間の親睦を深めた。

6月　一年間の活動を総括し、奉仕の輪を次年度へつないだ。

2022-23 Memory

未来につなぐ奉仕と親睦



会長　堀越 太志

RI会長　ジェニファー・ジョーンズ（Jennifer E. Jones）
RIテーマ　イマジンロータリー（Imagine Rotary）
第2770地区ガバナー　細淵雅邦
地区テーマ　創造しよう未来への調和　ーロータリーにDEIの爽やかな風をー

第2022-2023年度事業内容

7月　堀越年度がスタート。通常のクラブ活動再開に向け、新年度事業を開始。

通年　地区補助金事業として、子ども食堂への児童図書寄贈を実施し、地域の子どもたちを支援した。

通年　青少年交換事業として、スイスへの交換学生派遣および交換留学生Tim君の受入れを行い、国際理解を深めた。

10月　第3グループ合同「END POLIO NOW」募金活動に参加し、ポリオ根絶運動を推進した。

通年　米山奨学生との交流を通じ、国際親善と人材育成に取り組んだ。

秋　第2770地区大会へ参加し、地区活動との連携を深めた。

通年　ロータリー財団への寄付・支援活動を推進した。

通年　社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕を柱に、多彩な奉仕事業を展開した。
年度を通じ　コロナ禍から通常活動への移行を進め、会員相互の親睦と交流を深めた。

6月　一年間の活動を総括し、奉仕の輪を次年度へつないだ。



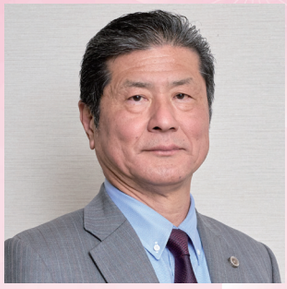
堀越年度 細淵ガバナー公式訪問例会



堀越年度　最終例会

2023-24 Memory

まじめで楽しいロータリー「confidence（信頼）!」



会長　吉澤 俊一

RI会長　ゴードン・R・マッキナリー（Gordon R. McInally）
RIテーマ　世界に希望を生み出そう
（CREATE HOPE in the WORLD）
第2770地区ガバナー　梨本松男
地区テーマ　ロータリーを理解し、楽しく活動しよう



入江ガバナー補佐を選出。第３第４グループのIM開催に全会員と共に尽力する。

第2023-2024年度事業内容

7月　吉澤年度がスタート。クラブの伝統を大切にしながら、新年度事業を開始。

通年　地区補助金事業として、彩の国子ども・若者支援ネットワークおよび「ふらっとマム」と連携し、地域の子ども・若者支援活動を推進した。

通年　米山奨学生との交流を通じ、国際理解と人材育成に取り組んだ。

通年　国際奉仕委員会を中心に、平和をテーマとしたオープン例会などを開催し、国際奉仕への理解を深めた。

秋　第2770地区大会へ参加し、地区活動との連携を推進した。

通年　ロータリー財団およびEND POLIO NOW活動への協力を継続した。

通年　創立記念例会、クラブ協議会、長期戦略委員会を通じ、クラブの将来像と組織強化について協議した。

通年　社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕を柱に、多彩な奉仕事業を展開した。

6月　一年間の活動を総括し、次年度へ奉仕の輪をつないだ。



IMのゲストとして清原和博氏を招く



吉澤年度 クリスマス例会の様子



吉澤年度　合同奉仕事業の様子

2024-25 Memory

仲間を大切に、そして仲間を増やそう！



会長　山田 善信

RI会長　ステファニー・A・アーチック（Stephanie A. Urchick）
RIテーマ　ロータリーのマジック（The Magic of Rotary）
第2770地区ガバナー　岡村睦美
地区テーマ　未来を見据えて変化しよう～多様性を力に～

第2024-2025年度事業内容

7月　山田年度がスタート。40周年を見据え、新年度事業を開始。

通年　米山奨学生との交流を通じ、国際理解と人材育成に取り組んだ。

秋　韓国・南安養ロータリークラブとの友好交流を深めた。

秋　第2770地区大会へ参加し、地区活動との連携を深めた。

通年　ロータリー財団およびEND POLIO NOW活動への協力を継続した。

通年　創立40周年に向け、実行委員会を中心に記念事業・記念誌等の準備を進めた。

通年　社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕を柱に、多彩な奉仕事業を展開した。

6月　一年間の活動を総括し、創立40周年へ向けた機運を高めながら次年度へ引き継いだ。



カンボジア 山本日本語学校訪問



カンボジア視察



山田年度納涼例会（屋形船）



ロータリー賞受賞の様子（地区大会）

2025-26 Memory

よいことのために手を取り合おう



会長　鈴木 真琴

RI会長　フランチェスコ・アレッツォ（Francesco Arezzo）
RIテーマ　よいことのために手を取り合おう（UNITE FOR GOOD）
第2770地区ガバナー　熊木 雄太郎
地区テーマ　創造しよう　ーすべてはクラブの未来のためにー

第2025-2026年度事業内容

7月　鈴木年度がスタート。創立40周年を迎える節目の年度として、会員一丸となって新年度事業を開始。

通年　創立40周年記念事業に向け、実行委員会を中心に式典・祝賀会、記念誌等の準備を進めた。

通年　さいたまユースサポートネットへの支援活動を継続し、地域の子ども・若者を支える社会奉仕を推進した。

通年　米山奨学生との交流を通じ、国際理解と人材育成に取り組んだ。

通年　ロータリー財団およびEND POLIO NOW活動への協力を継続した。

3月3日　パレスホテル大宮において、創立40周年記念式典・祝賀会を開催。多くの来賓、友好クラブ、関係者を迎え、40年の歩みを振り返るとともに未来への新たな一歩を誓った。

3月3日　記念式典に先立ち、韓国・南安養ロータリークラブとの姉妹クラブ再調印式を執り行い、長年にわたり育まれた友情と国際親善の絆を次世代へつないだ。

記念式典・祝賀会は、大宮中央ロータリークラブらしい温かな雰囲気の中で行われ、出席者の心に深く刻まれる節目の一日となった。

年度を通じ　40周年を契機に、クラブの歴史と伝統を振り返り、次代へ継承する意識を高めた。

6月　一年間の活動を総括し、創立40周年の節目で得た絆と学びを次年度へ引き継いだ。





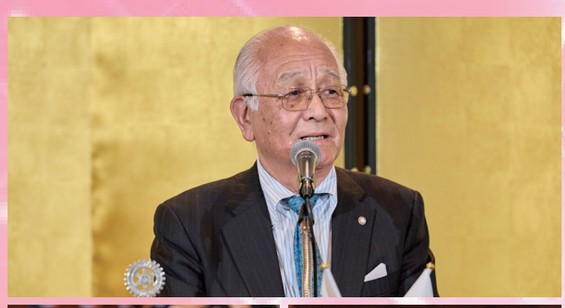






40周年記念式典の写真集

40th Anniversary Ceremony Photo Album


































永年在籍会員表彰式の様子

(一社)国際ロータリー
第2770地区
大宮ロータリークラブ
会長　大竹敦　様




NPO法人
さいたまユースサポートネット
専務理事　青砥祥子様










国際ロータリー3750地区
南安養ロータリークラブ
会長　이 학종様(イ・ハクジョン)







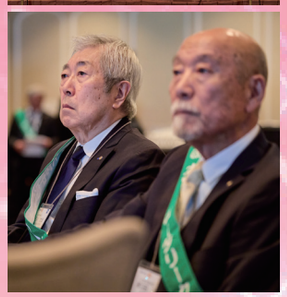



大宮中央ロータリークラブ



大宮中央ロータリークラブ
創立40周年記念式典・祝賀会








40th anniversary
創立40周年記念式典・祝賀会
2026.3.1


大宮中央ロータリークラブ



























さいたま市長　清水勇人 様

祝賀会










































さいたま市立
大宮国際中等教育学校
校長　根岸君和　様









(一社)国際ロータリー
第2770地区　第3グループ
ガバナー補佐　中村芳彦　様















大宮中央RC元会員紹介・記念品贈呈の様子







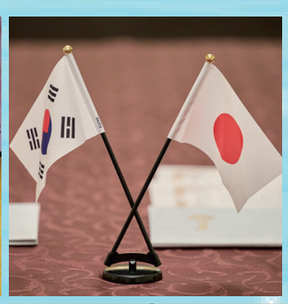
























姉妹クラブ締結式





大宮中央RCと南安養RCとの姉妹クラブ締結式の様子



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
第2　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
第3　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
第4　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

バナーの由来

大宮公園は県内初の県営公園で春は桜、秋は紅葉と四季の変化に富み、今なお武蔵野の風情を残している県内でも屈指の公園であります。その大宮公園の吉野桜と私どもクラブは県下2番目のイブニングクラブでありますので月をバッグにデザインしたものです。

制作：ライトブルー（町田宏遠 会員）



継

表紙に記した「継」の一字は
私たちが大切にしてきた想いを
未来へと継ぐ決意を表すものです。

絆を継ぐ
希望を継ぐ
伝統を継ぐ

表紙：才間心絵 書（当クラブ会員　才間朋子）

大宮中央ロータリークラブ
Web サイト